

競 技 注 意 事 項

ー2025 岩手ベイ・チャレンジ陸上 2ndー

1 競技規則について

本大会は、2025 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び大会要項、申し合わせ事項により実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は北ゲート付近に設ける。(100mスタート後方の第一器具庫付近)
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所において競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス（ナンバーカード）・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取り、つける。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を競技者係に申し出ること。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。
 - ④ 棄権する場合は、あらかじめ競技者係に招集完了時刻までに申し出ること。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、折り曲げないで、ユニフォームの胸と背に確実に付けること（4ヶ所、2点留め）。
- (2) 跳躍競技の競技者は、胸部または背部のみでよい。

4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。

5 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ② レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ④ スタート合図は、イングリッシュコールで実施する。 ※小学生も同様。
 - ⑤ 不正スタートの取り扱いについては、次のとおりとする。

小学生競技以外：競技規則第 162 条 8 により、1 回の不正スタートで失格とする。

小学生競技：同一人が 2 回不正スタートをした場合に失格とする。
 - ⑥ トラック競技はすべてタイムレースとする。
- (2) フィールド競技について
 - ① フィールド競技における競技場内での練習試技は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ② フィールド競技（走高跳を除く）の試技は、3 回とする。
- (3) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。また、競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。

6 走高跳のバーの上げ方について

走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

種 別	練 習	バーの上げ方							
高校・一般男子	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	以降 3cm	
高校・一般女子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以降 3cm

なお、天候、その他諸事情等によりバーの上げ方を審判長判断で変更する場合がある。

7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) スパイクピンの長さは9mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (3) 投てき競技の使用する器具は次のとおりとする。

砲丸投・やり投・ジャベリックスロー

種目	男子				女子	
	一般	高校	U18	U16	高校・一般	U16
砲丸投	7.260kg	—	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg
やり投	800g		—	—	600g	—
ジャベリックスロー	—	—	—	300g	—	300g

8 記録証

賞状等の授与は行わないが、希望者には記録証を1部100円で発行する。希望者は当日会場で競技終了30分後までに庶務係（スタンド下室内走路）に代金を添えて申し込むこと。

※ 多数の場合は後日郵送となる場合がある。

9 一般注意事項

- (1) 競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 大会期間中の貴重品の保管は、各自で行うこと。盗難にあっても責任は負わない。
- (3) 記録はその都度発表するが、別に設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。

10 練習について

- (1) 練習は本競技場を競技開始30分前まで開放する。
- (2) 本競技場での練習は、スタート練習を除き、全てトラック競技と同じ方向で走り、逆走は絶対にしないこと。なお、レーンを次のように指定する。

【周回】1～2レーン：j o g

【ホームストレート側】3～8レーン：スタート練習

【バックストレート側】3～8レーン：流し等

- (3) 安全に十分留意して行うこと。なお、練習中に発生した傷害等は、応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 競技中でも、他の競技に支障が無い範囲において、バックストレートを使用して差し支えない。なお、その場合も逆走は絶対にしないこと。